

— 明治大学 —

2月9日 国際日本学部 英語

解答

[I]

1

- (1) ③
- (2) ③
- (3) ④
- (4) ④
- (5) ③
- (6) ②
- (7) ①

2 ①

3

- ① like
- ② tend
- ③ which
- ④ whether
- ⑤ excel

4

- (1) ③
- (2) ①
- (3) ④
- (4) ④

[II]

1

- (1) ④
- (2) ①
- (3) ①
- (4) ③
- (5) ②
- (6) ③
- (7) ②
- (8) ④

2 ④

3

- (1) ①
- (2) ③
- (3) ②

[Ⅲ]

- (1) ③
- (2) ①
- (3) ①
- (4) ④
- (5) ①
- (6) ②
- (7) ③
- (8) ②
- (9) ③
- (10) ④

[Ⅳ]

- (1) ③
- (2) ③
- (3) ①
- (4) ①
- (5) ②
- (6) ③
- (7) ①
- (8) ①
- (9) ③
- (10) ①

[Ⅴ]

- (A) ③
- (B) ⑩
- (C) ⑦
- (D) ⑤
- (E) ①
- (F) ⑫
- (G) ⑥
- (H) ⑪
- (I) ⑧
- (J) ④

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

I

1

(3) mark ～「～を特徴づける」

(5) fine は「素晴らしい／天気のこと」の意味だけではなく「細かい」という意味もある。

(7) transgress は「～を越える／（法律など）～に違反する」という意味であるが、多くの受験生には馴染みのないものであったろう。trans-という接頭辞は「越える」を表す。意味を推測する上で有効なので押さえておくと良い。目的語の gender boundary「性別の境界線」に注目できれば、さらに推測しやすかっただろう。

2

空所（ア）の前段落（第9段落）では、歴史的に子どもの玩具が性別ごとに、明確に区分されてきた経緯が語られている。次の段落では、子どもの服装が性別ごとに区分されてきたという情報が追加されている。すると脱落文に含まれる also が並列の信号となって活かされるのである。

4

(1) 選択肢①及び②については第8段落参照。

選択肢④については第4段落参照。

選択肢③については、第8段落第3文に「しかし、1990年代では男女別の玩具が強烈な復活を果たした」とあるため本文と一致しない。

(2) 第6段落第2文に「最近ディズニーはコスチュームの性別ラベルを廃止した」とはあるが、選択肢③の「色による区別を廃止した」という記述はない。

(3) 第22段落（4ページ3行目以降）第3文に「“children”ではなく“boys and girls”という言葉を使うことだけでも影響があった」とある。

(4) 第16段落第2文（3ページ10行目付近）の「大きな達成を求めるならば、それは見かけと関係がある」という趣旨と一致する。

□

3

- (1) 第5段落最終文に「他の人が1週間の休暇をもらっている一方で、自分が2週間の休暇をもらえる場合より、他の人が8週間の休暇をもらっている一方で、自分は4週間の休暇しかもらえない状況を大多数の人が好む」という記述がある。
- (2) 第6段落第2文に「自分が物質主義的な思想を持っていると考えられることに対して、それを恥じる感覚を持つ可能性がある」という記述がある。
- (3) 本文の内容から読み取れることは、選択肢②と逆の内容の「靴を買ったことを思い出すより、最近の休暇のことを思い出した時の方が幸せを感じる」である。したがって、この選択肢が本文の内容と一致しない。

□

- (1) keep up with ~ 「～に遅れずに着いていく」
- (3) go for it で日本語の「頑張れ」に近い意味になる。
- (5) 主節の助動詞が過去形になっていることから仮定法を考える。空所の後ろに he not met という、本来は使わない形が見られることから「倒置による if の省略」を想定。
元は If he had not met the CEO...であったものが Had he not met the CEO...の語順になっている。
- (7) stay / keep in touch 「連絡を取り合う（関係を保つ）」

□

- (4) 先行する A の発言に I'm looking...とある。述部で be 動詞 am が使われていることを受け、選択肢①am I が適切だと判断する (be 動詞を受けて選択肢②do I は使わない)。
- (5) You know what? 「何があったと思う?」は、一般に話を切り出す時に使われる表現である。
- (6) Do you have the time? 「今の時刻は?」と Do you have time? 「(これから何かをする) 時間はある?」は明確に区別しておきたい。「今この瞬間」を指す意味で the が用いられる。冠詞に注意を払うことは、日本人が英語を理解・運用していく上で欠かすことができない。
- (7) It depends. 「場合・状況による」
- (10) carry on with ~ 「～を続ける」

V

- (A) 「こんにちは。麻理恵さん。毎日の生活をもっとスッキリとシンプルで、楽しく整えたいという人に何か秘訣を願いできますか?」
- (B) 「もちろん。声に出してですよ。私は、自分の靴に今日素敵なところに連れていってくれて本当にありがとうございますと話しかけるのが好きです。これが私なりの敬意の払い方なんです」

- (C) 「私のメソッドの目的は人に喜びをもたらすことなんです。きちんと片付けるだけではなく、それは判断する力を育てるのです」
- (D) 「あなたのメソッドで人生そのものが変わったという例はありますか？」
- (E) 「彼女はすっかり変わり、自分のしていることに満足しています。お分かりになるでしょ」
- (F) 「これ（片付けること）をする度に、古典的な学習経験を積むのです」
- (G) 「友情や恋愛が自分のためにならないとか、喜びをもたらすこともないと気づくと、私のメソッドを応用した後なら、それらを容易に手放すことができます」
- (H) 「あなたの部屋はとてとてもとても片付いているんでしょうね。あなた自身、あなたのメソッドを他にはどこに応用しているんですか？」
- (I) 「出かけるときには何を持って行くのですか？」
- (J) （嬉しそうに顔を輝かせて）「はい、あります！クローゼットとアンティーク・ボックスです。そこに個人的なものや大切な小物をしまっています」

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！